

# 認知症について考える会



## ◆第6回◆

平成29年9月10日(日)

参加者 12名

場所 つつじが丘

地域福祉センター

「認知症と診断された方が知りたいことってどんなこと？」

平成28年6月に発行した「認知症ガイドブック」の改訂に向けた意見交換を行いました。

### ガイドブックで伝えたいメッセージ

- ・あなたのことがわかっているから大丈夫！という人がいる
- ・お互いが負担にならない気持ち
- ・「怖くない病気」との安心感
- ・認知症の方みんな同じ症状・状態じゃないことを理解してほしい
- ・認知症になってもできることがある！

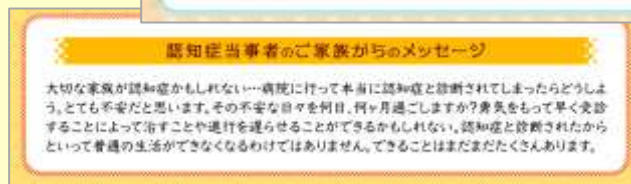
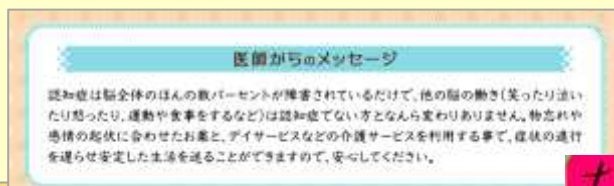
### 今後のガイドブックの改訂内容

- ・「認知症」のタイトルで冊子を開けるか？「ゆるやかな」イメージのタイトルが大切
- ・病院の所在校区があるとわかりやすい。専門用語はわかりづらい
- ・窓口がたくさんありすぎて分かりにくい。たらい回しになるのは嫌。
- ・現状のガイドブックは、本人には分かりにくい。情報量が多く見るのが嫌になるかも。
- ・初めに希望が持てるような内容を。病気の説明が先行すると希望に繋がりにくい。
- ・問題行動ばかりピックアップすると、当たり前が奪われる恐れがある。いいこと悪いことの両方の情報が大事。昔得た経験は今も得意ですばらしい！
- ・生の声（本人の困り事、対応、工夫）等

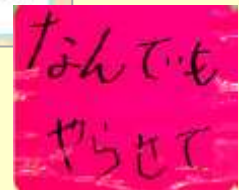
### 【改定の一例】



認知症本人の作品を入れた、やさしいイメージの表紙にしました



本人・家族へのメッセージを各ページに追加しました



4コママンガを追加して、生活をイメージしやすくしました



豊橋市役所長寿介護課  
地域予防啓発グループ  
電話：51-2338

今回の意見と認知症施策推進検討部会での意見により、平成30年3月に「知って安心 認知症ガイドブック」の改訂をいたしました。ご意見を寄せていただいた皆さま、本当にありがとうございました。